



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

2022年3月期 第3四半期 の決算概要について

NISSEI
D

日精樹脂工業株式会社

2022年2月

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 純利益
2022年3月期 第3四半期	34,576 (17.7%)	2,040 (119.6%)	2,147 (115.0%)	2,269 (261.6%)	116.34円
2021年3月期 第3四半期	29,367 (Δ0.6%)	929 (Δ22.2%)	998 (Δ22.7%)	627 (Δ22.9%)	32.17円

売上

- ・主力である射出成形機の需要が自動車関連を中心に堅調だったことから、売上高は前年同期比17.7%増の345億7千6百万円となった。

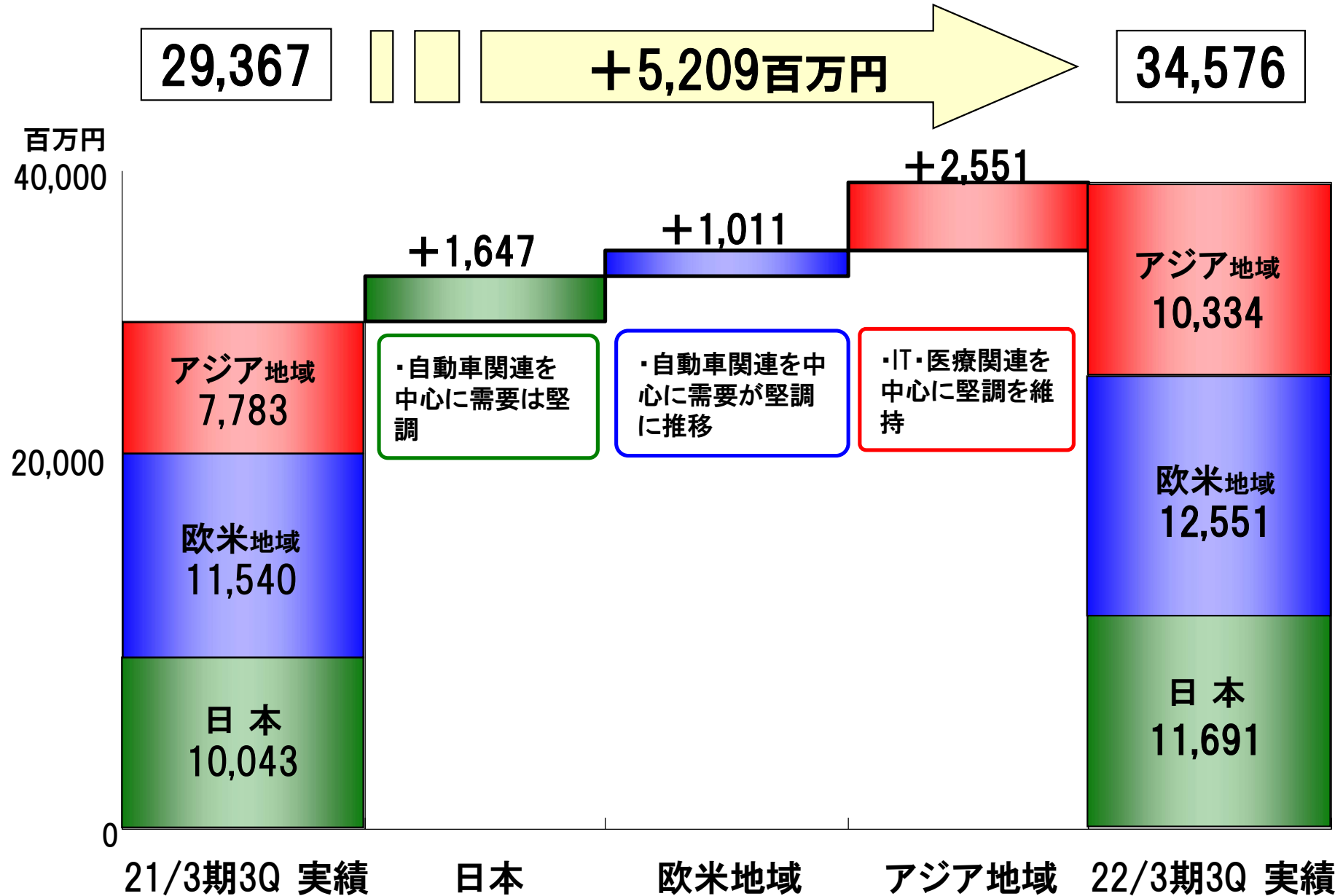
利益

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により低調だった需要が回復基調で推移したこと等から営業利益は20億4千万円(前年同四半期比119.6%増)となった。
- ・この結果、経常利益は21億4千7百万円(前年同四半期比115.0%増)、四半期純利益は22億6千9百万円(同261.6%増)となった。

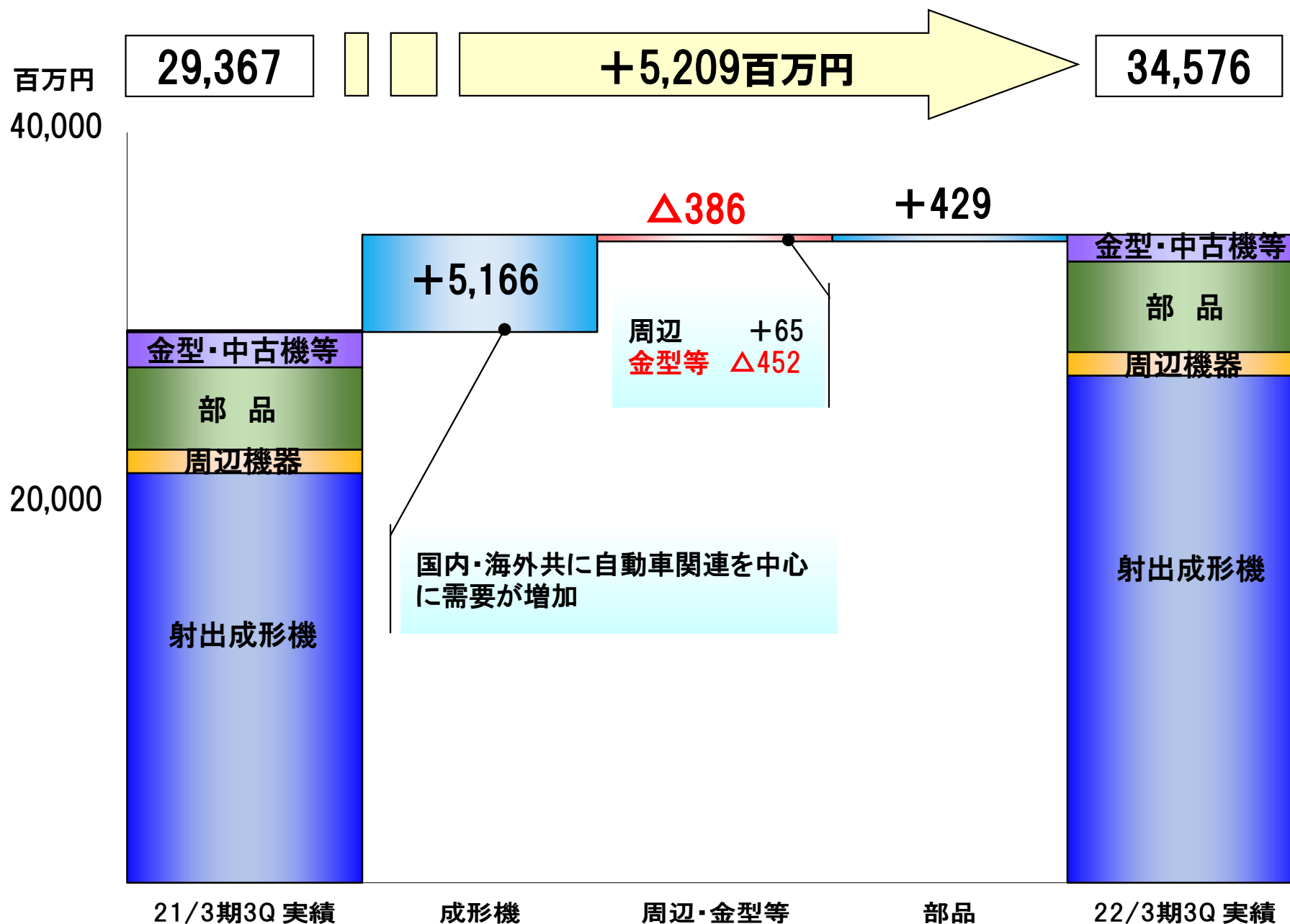
単位：百万円、比率%

	2021年3月期 3Q実績	2022年3月期 3Q実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	21,831	26,997	5,166	23.6
周辺機器	1,252	1,317	65	5.2
部品	4,353	4,782	429	9.8
金型等	1,930	1,478	△452	△23.4
売上高合計	29,367	34,576	5,209	17.7
売上総利益	8,805	10,542	1,737	19.7
一般管理販売費	7,876	8,502	625	7.9
営業利益	929	2,040	1,111	119.6
経常利益	998	2,147	1,148	115.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	627	2,269	1,641	261.6

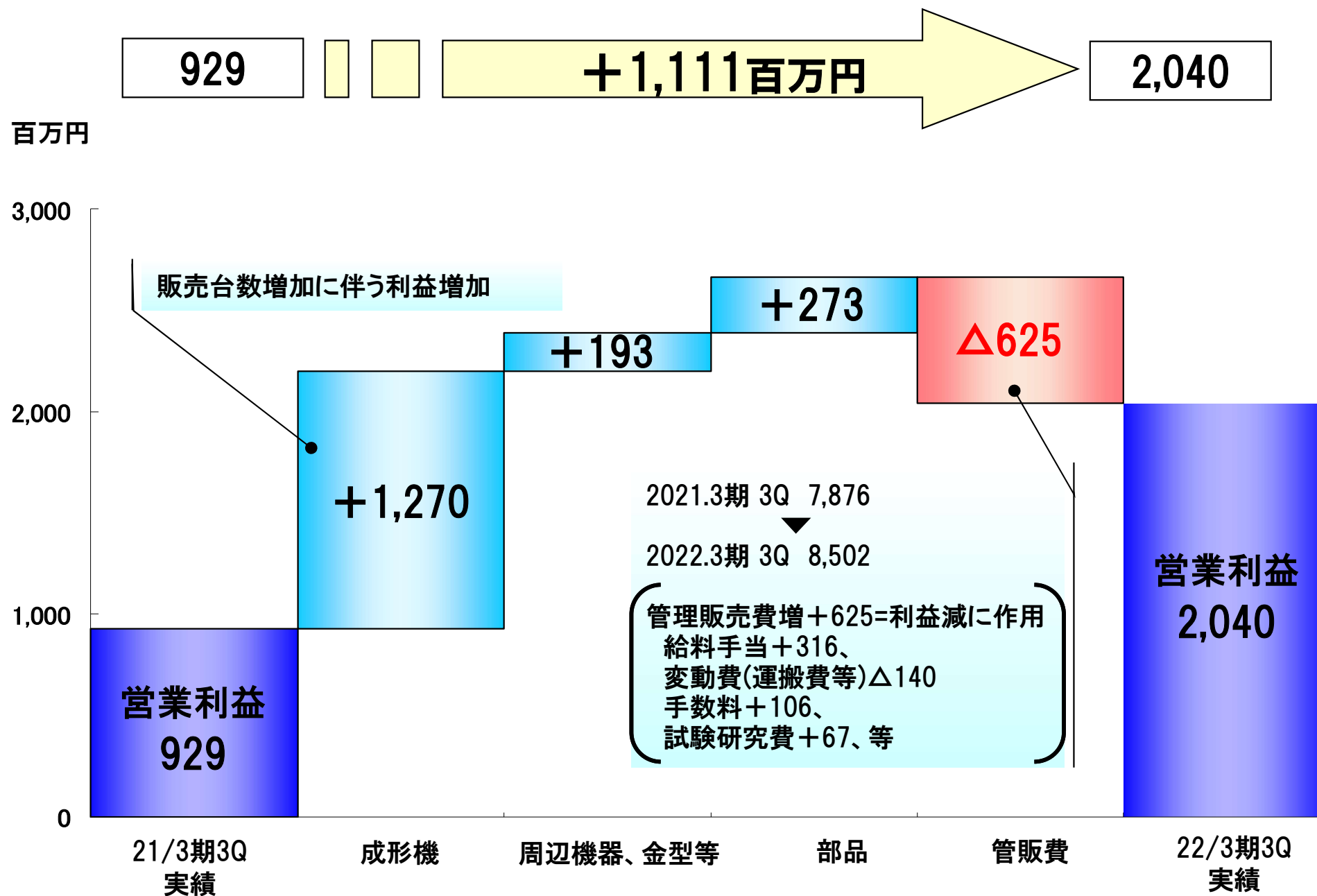
外部顧客への売上高の増減



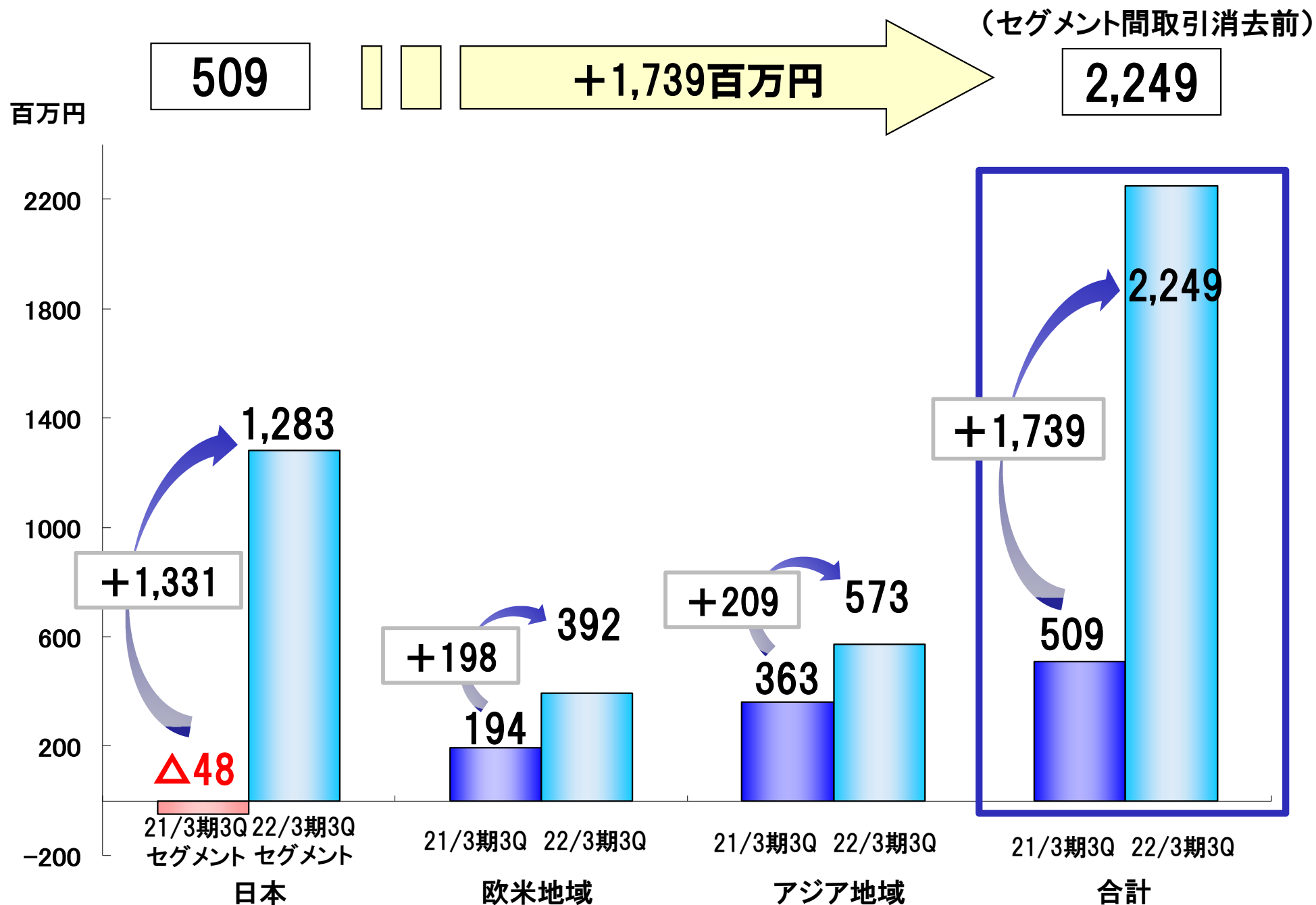
連結売上高(製品別)増減 [2021/3期3Q⇒2022/3期3Q]



連結営業利益(製品別)増減 [2021/3期3Q⇒2022/3期3Q]



連結営業利益(セグメント別)増減 [2021/3期3Q⇒2022/3期3Q]



(セグメント間取引消去前)

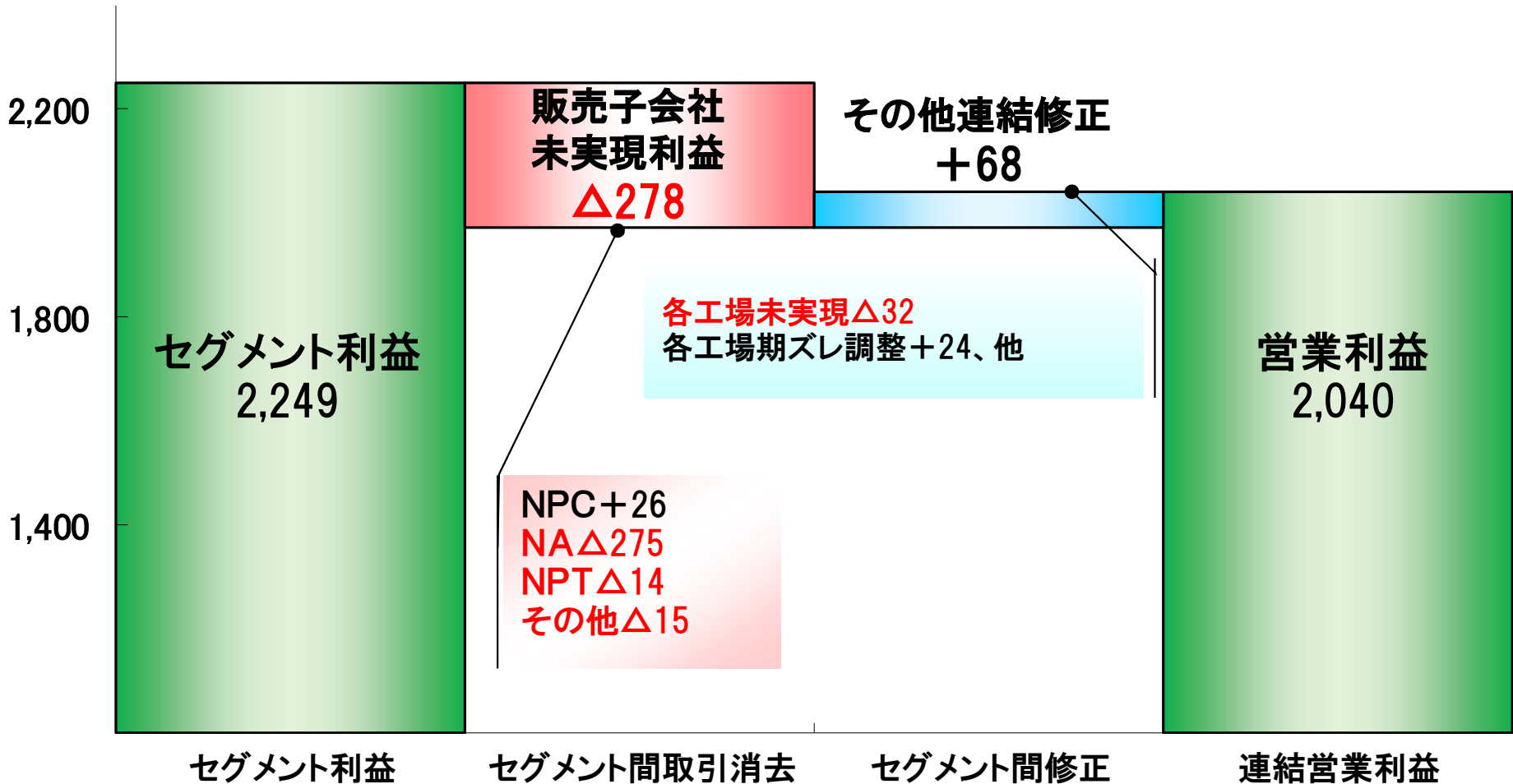
2,249

△208百万円

(財務諸表 記載額)

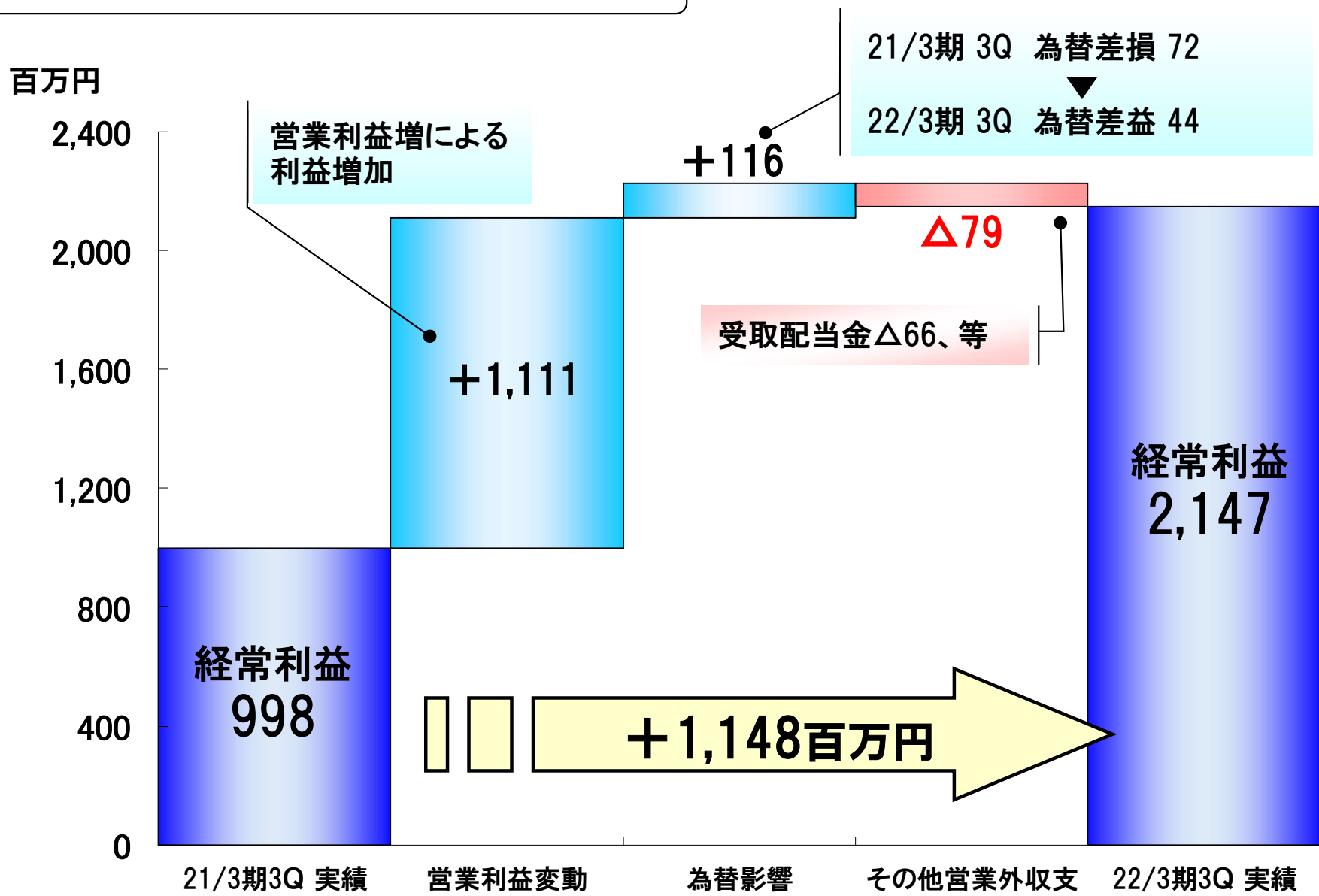
2,040

百万円



連結経常利益の増減 [2021/3期3Q⇒2022/3期3Q]

\$円レート: 期初 ¥ 110.71 ⇒ 12/末 ¥ 115.02
 元円レート: 1/初 ¥ 15.88 ⇒ 9/末 ¥ 17.30

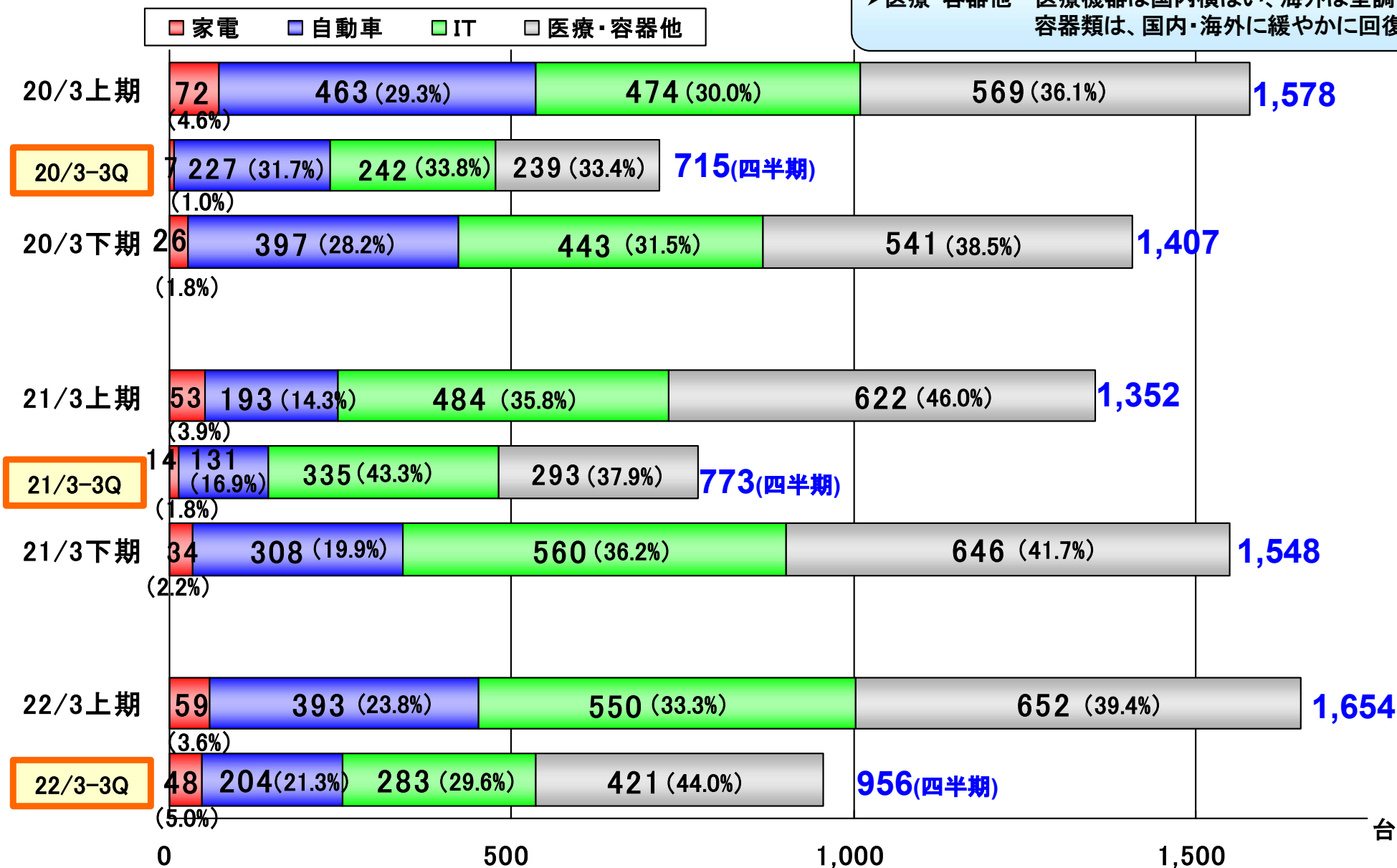


射出成形機の需要先別出荷台数推移(当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2022年3月期第3四半期

- 自動車…国内、海外回復し、堅調に推移
- IT…アジア、堅調を維持
- 医療・容器他…医療機器は国内横ばい、海外は堅調
容器類は、国内・海外に緩やかに回復

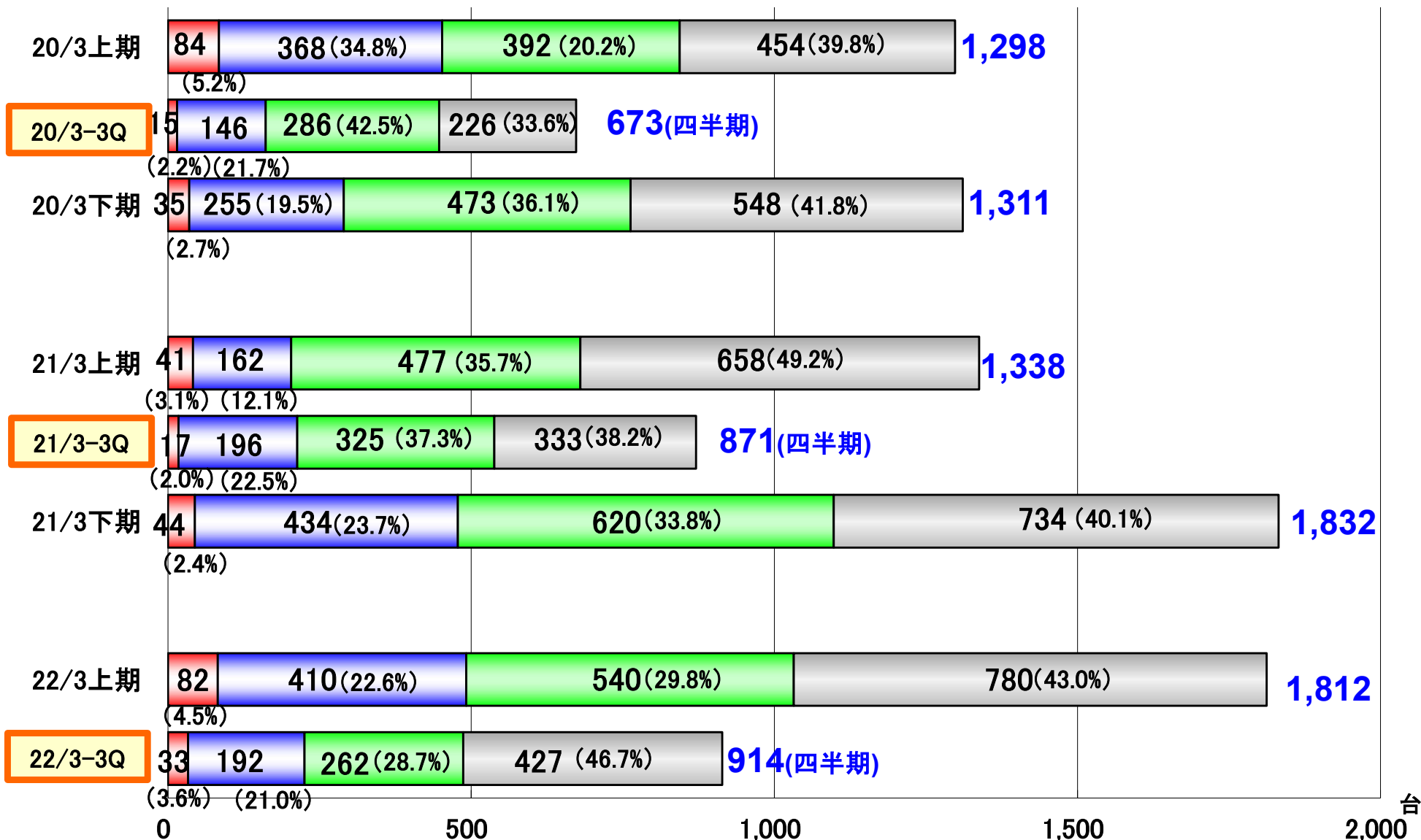


射出成形機の受注推移

射出成形機の需要先別受注台数推移(当社)

- ・22/3期3Qの受注台数は2,726台。前年同期比23.4%増。
- ・21/3下期からの徐々に回復、特に自動車関連の受注環境が改善し堅調に推移。
- ・IT関連は東アジアを中心に好調を維持。
- ・雑貨は国内を中心に緩やかに回復。

□家電 □自動車 □IT □医療・容器他

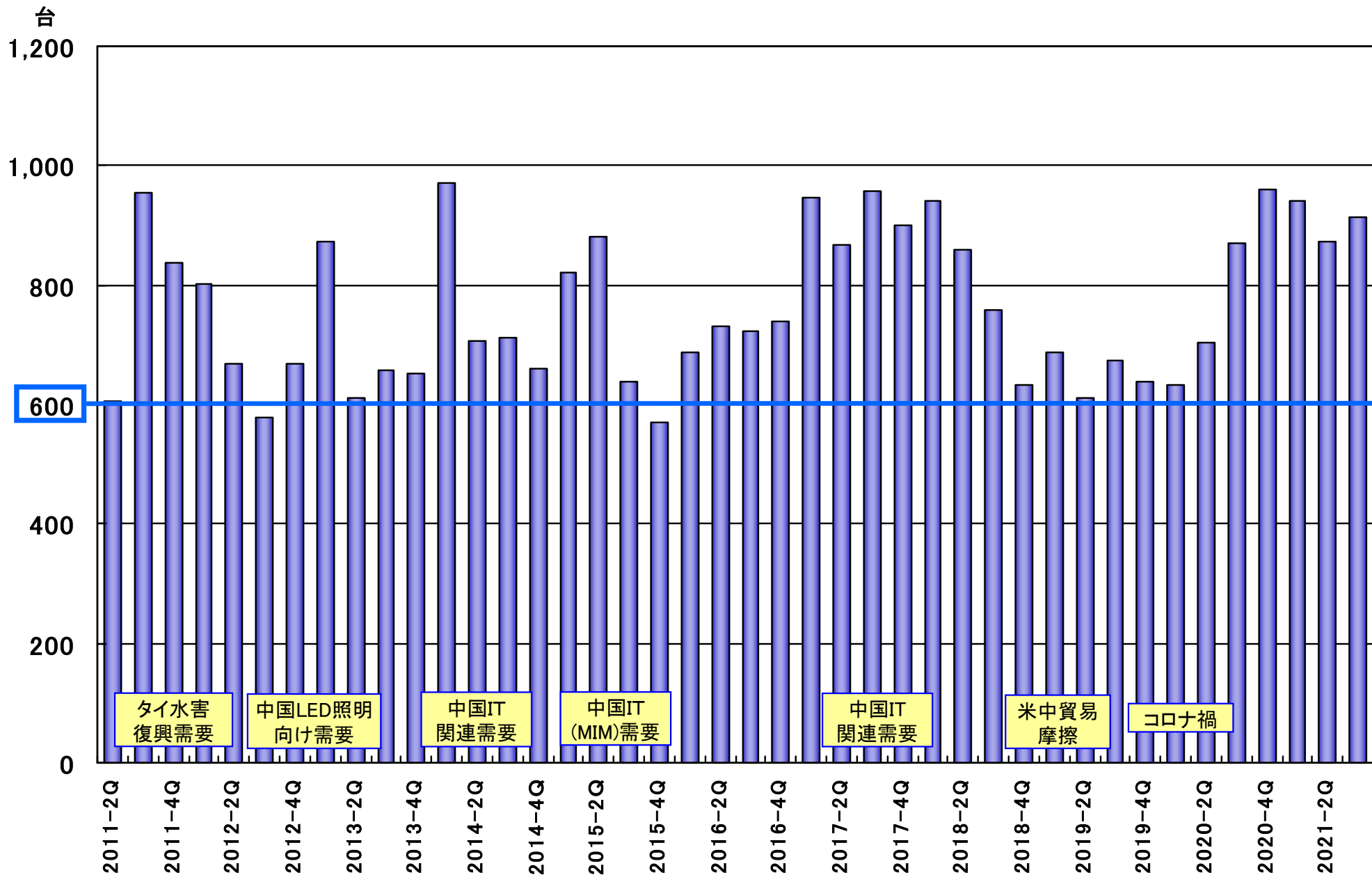


射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

※単体における契約ベース



2020年第二四半期を境として回復傾向に転じている。
月度受注は200台前後の水準から300台前後の水準までに回復。

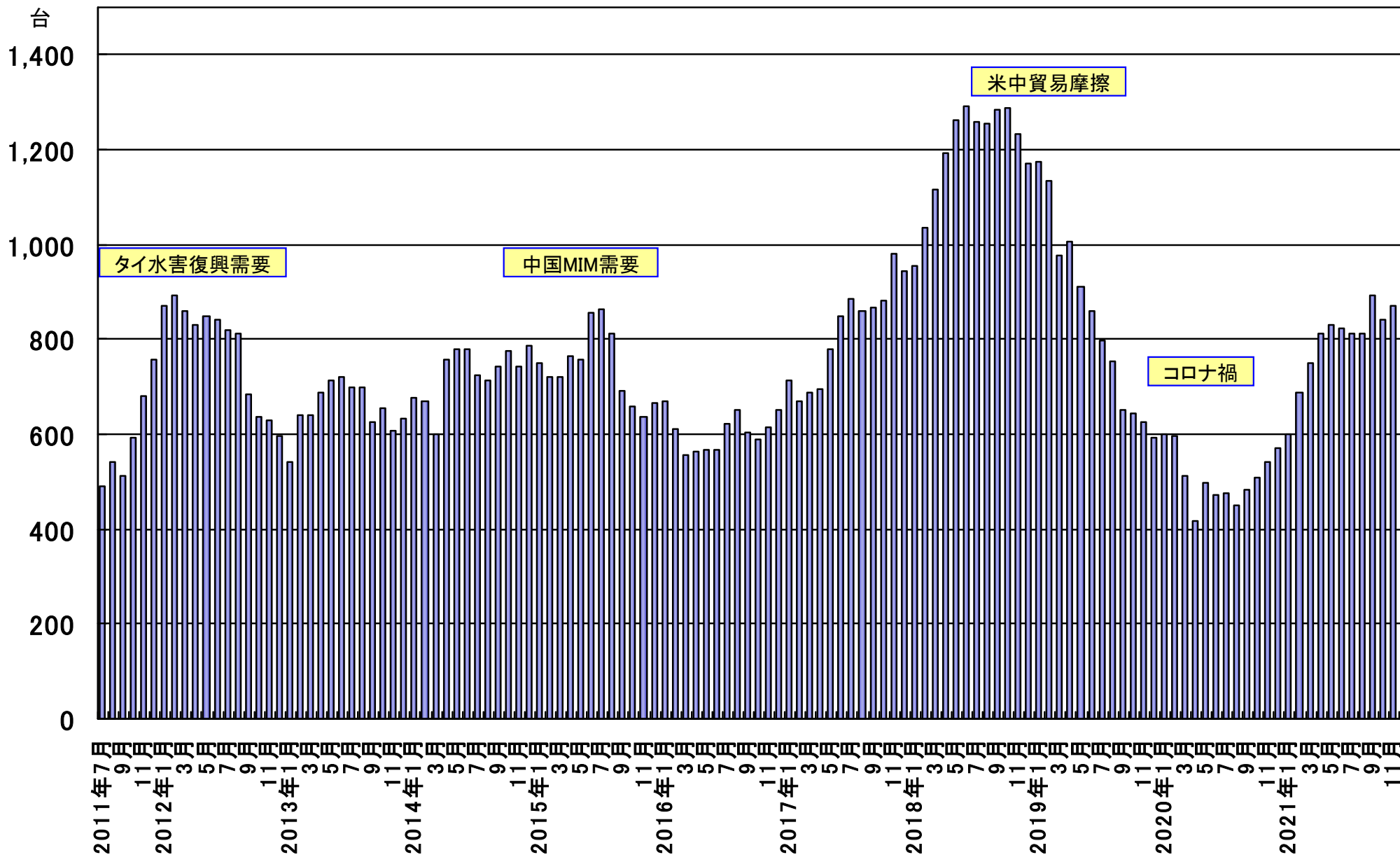


射出成形機の月別受注残 台数推移(当社)

※単体における契約ベース



新型コロナの影響により減速したが、2020年8月頃を境に増加に転じている。
 国内外で自動車関連需要や東アジアを中心にIT需要が堅調に推移し、受注が積み増している状態。
 2021年4月より受注残台数は800台前後を推移。



2022年3月期計画について

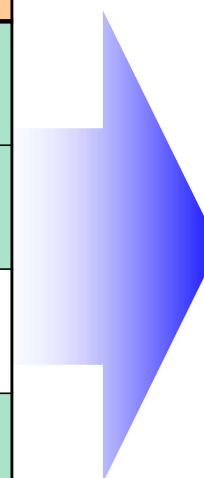
経営方針

1. **真のグローバル経営の強化**
2. **グローバル市場への積極的展開による
営業強化**
3. **グローバル生産体制の強化**
4. **グローバルリスク管理体制の強化**

◎第3四半期の業績の動向を踏まえ、2021年8月12日に公表しました業績予想を下記の通り修正

単位：百万円、比率%

	2022/3期		対通期計画 進捗率 %
	3Q実績	通期計画 (2021.8.12 修正開示)	
売上高	34,576	43,600	79.3%
営業利益	2,040	2,400	85.0%
(利益率)	5.9	5.5	
経常利益	2,147	2,550	84.2%
(利益率)	6.2	5.8	
四半期純利益	2,269	2,450	92.6%
(利益率)	6.6	5.6	



	通期計画 (2022.2.10 開示)
売上高	47,000
営業利益	2,550
(利益率)	5.4
経常利益	2,650
(利益率)	5.6
四半期純利益	2,550
(利益率)	5.4

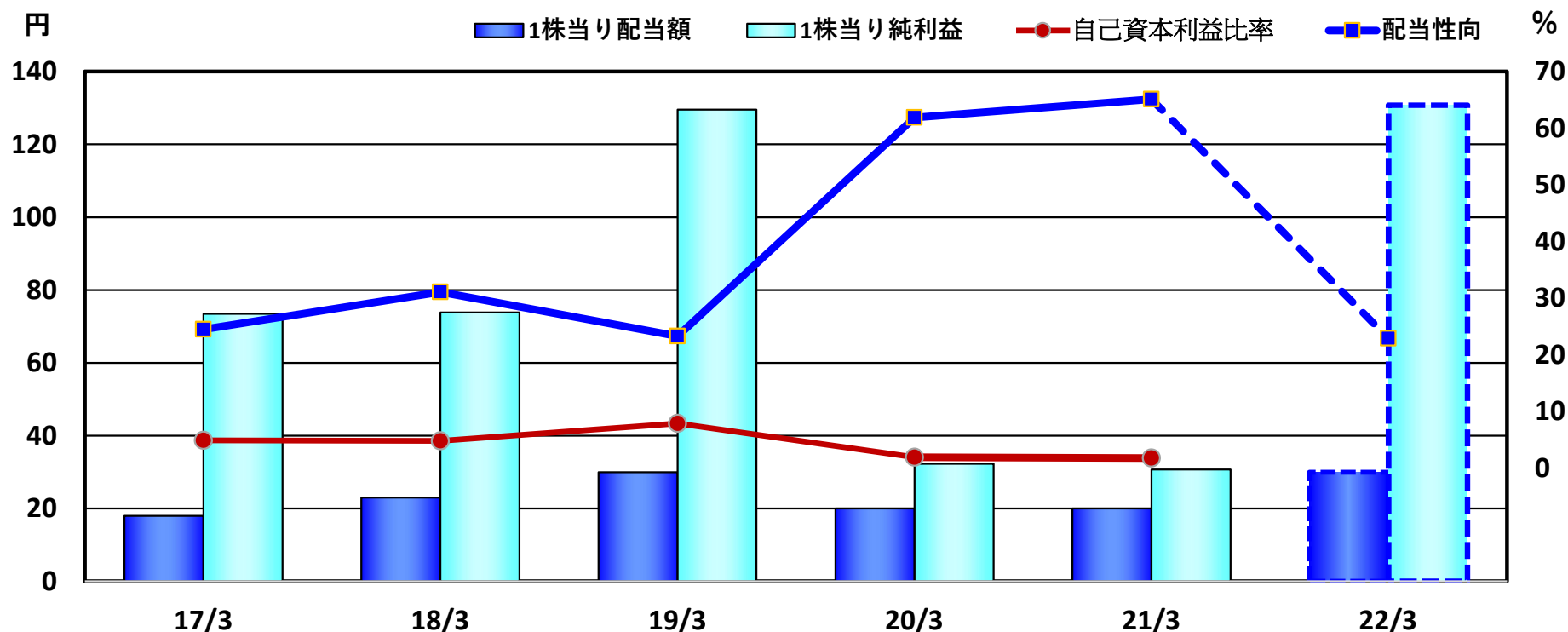
2022年3Q実績 NB社土地建物買取、第5工場天井灯LED化、等

百万円

	2022年3月期 3Q実績	
主な設備等	本社	
	ソフトウェア(開発工数振替)	38
	第5工場天井灯LED化	13
	STAC-25Mレトロフィット	220
	NB社土地建物の買取	903
	NB社太陽光発電設備の買取	62
	日精ホンマ 第1工場改修工事	48
	その他、維持投資等	297
設備投資総額		1,581
本社出資		
減価償却費		930
研究開発費		288

- ・ 2022年3月期 年間配当は、1株につき30.00円(中間15.00円、期末15.00円)を予定。

年間配当金／配当性向(連結)の推移



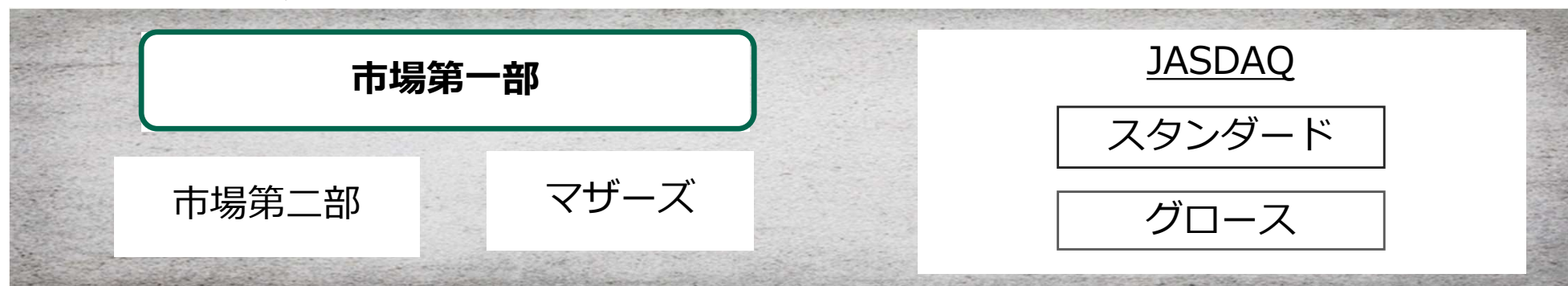
	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期
1株当り純利益	73.45円	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	130.75(予)
1株当り配当額	18.00円	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円(予)
中間配当	8.00円	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円
期末配当	10.00円	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円(予)
配当性向	24.5%	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	22.9%(予)
自己資本利益率	4.9%	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	—

トピックス

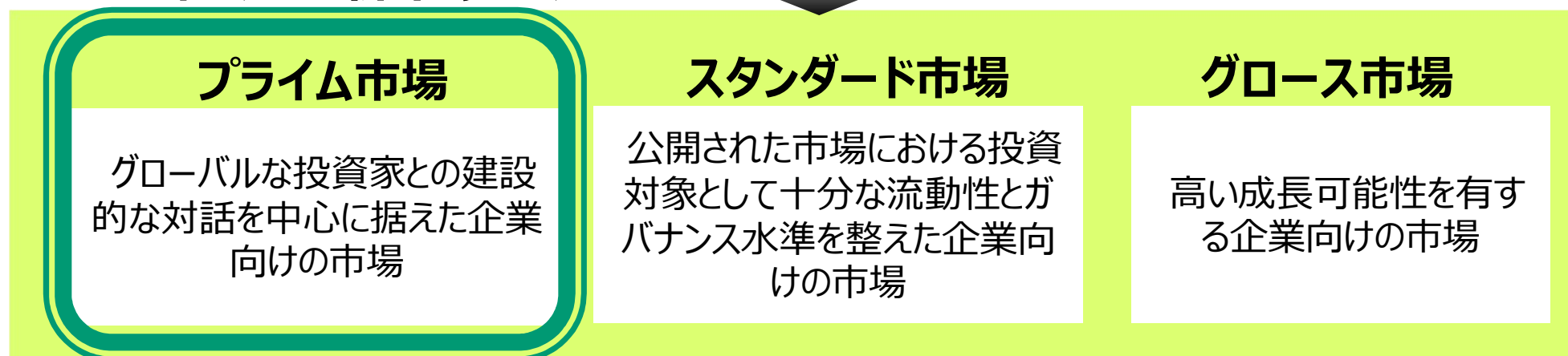
2021.11.11

2022年4月より東京証券取引所は新市場区分となります。
当社は、新市場区分の『プライム市場』を選択し、
東証に申請を行いました。

<現在の市場区分>

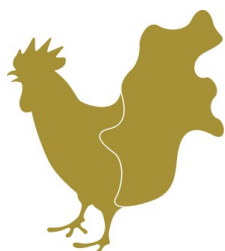


<2022年4月～新市場区分>



2022.2.18

当社は、N-PLAjet “PLA材料向け射出成形技術”を
『信州ブランドアワード2021』にエントリーし、
しあわせ信州部門 大賞を受賞！



SHINSHU
BRAND
AWARD

“信州ブランドアワード”は、毎年設定されるテーマに即して信州ブランドの価値向上につながるとの評価を得たブランドが選定される。
2021年のテーマ 『ゼロカーボンを意識した製品・サービス』につながる製品・サービス

環境対応素材であるポリ乳酸(PLA)の射出成形技術に関する
自社ブランド『N-PLAjet』が大賞を受賞！

「ゼロカーボン」を意識した取り組みとしてテーマに合致している点、
1990年代初めから生分解性樹脂の研究開発に着手し、
継続的に取り組んでいることの見識や志向性を評価いただき、
大賞の受賞となりました。





日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
